

平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年2月8日

上場会社名 築地魚市場 株式会社

上場取引所 東

コード番号 8039 URL <http://www.tsukiji-uoichiba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣石 清治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大竹 利夫

TEL 03-3541-6312

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	65,377	0.9	54		128		8	
23年3月期第3四半期	65,968	0.8	104		7		42	

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 16百万円 (%) 23年3月期第3四半期 522百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	0.37	
23年3月期第3四半期	1.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	20,911	6,347	30.4
23年3月期	19,196	6,431	33.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 6,347百万円 23年3月期 6,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期				3.00	3.00
24年3月期					
24年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	85,000	0.3	150		200		80		3.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]P.3(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	22,475,208 株	23年3月期	22,475,208 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

24年3月期3Q	28,475 株	23年3月期	27,871 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	22,447,156 株	23年3月期3Q	22,449,518 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、株式市場は徐々に回復しているものの、欧州やアメリカの経済不安等により円高傾向は収まらず、企業収益に影響を及ぼす恐れがあり、また先の東日本大震災からの復興もなかなか進展せず、原子力発電所の事故による放射能汚染など新たな問題が浮上するなど、先行きの不透明感が拭えない状況にあります。

水産物卸売業界においても厳しい状況は変わらず、卸売市場経由率が依然として低下しており取扱数量は減少傾向にあります。一方消費者は食に対する安全、安心を求め、なおかつ低価格志向がますます強まる気配を見せ、非常に厳しい状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、積極的な営業活動の展開と、与信管理、内部管理体制をこれまでもまして一段と強化してきました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は653億77百万円（前年同期は659億68百万円）、営業利益は54百万円（前年同期は1億4百万円の営業損失）、経常利益は1億28百万円（前年同期は7百万円の経常損失）、四半期純利益は8百万円（前年同期は42百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

水産物卸売業においては、取扱数量は減少したものの単価がやや回復したことにより、売上高は647億95百万円（前年同期は653億75百万円）となり、また営業費用を削減し収益の改善に努めましたが、セグメント損失は91百万円（前年同期は2億43百万円のセグメント損失）となりました。冷蔵倉庫業においては、取扱量が減少し売上高は3億51百万円（前年同期は3億66百万円）、セグメント利益は14百万円（前年同期は17百万円のセグメント利益）となりました。不動産賃貸業においては、新たに取得した物件が本格稼働したことにより、売上高は2億30百万円（前年同期は2億26百万円）、セグメント利益は1億31百万円（前年同期は1億22百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は209億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億15百万円増加いたしました。流動資産は129億55百万円となり、20億31百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少と売上債権や商品及び製品が増加したことによるものです。固定資産は79億56百万円となり、3億16百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価の下落によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は145億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億99百万円増加いたしました。流動負債は125億58百万円となり、18億97百万円増加いたしました。主な要因は、仕入債務や短期借入金の増加によるものです。固定負債は20億6百万円となり、98百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の返済によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は63億47百万円となり、84百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の33.50%から30.35%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては平成23年11月8日の「平成24年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,807	1,056
受取手形及び売掛金	5,083	6,174
前渡金	173	116
商品及び製品	3,824	5,444
原材料及び貯蔵品	66	22
その他	319	338
貸倒引当金	350	198
流動資産合計	10,923	12,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,148	2,069
その他(純額)	1,108	1,147
有形固定資産合計	3,256	3,216
無形固定資産	92	87
投資その他の資産		
投資有価証券	4,825	4,553
その他	173	325
貸倒引当金	75	226
投資その他の資産合計	4,922	4,652
固定資産合計	8,272	7,956
資産合計	19,196	20,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,445	3,719
短期借入金	7,771	8,321
未払法人税等	12	6
賞与引当金	39	10
その他	391	500
流動負債合計	10,660	12,558
固定負債		
長期借入金	747	641
長期未払金	67	54
繰延税金負債	84	75
退職給付引当金	568	576
その他	636	658
固定負債合計	2,104	2,006
負債合計	12,764	14,564

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,037	2,037
資本剰余金	1,309	1,309
利益剰余金	3,969	3,910
自己株式	5	5
株主資本合計	7,311	7,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	896	922
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	16	18
その他の包括利益累計額合計	879	905
純資産合計	6,431	6,347
負債純資産合計	19,196	20,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	65,968	65,377
売上原価	62,817	62,212
売上総利益	3,151	3,164
販売費及び一般管理費	3,255	3,110
営業利益又は営業損失()	104	54
営業外収益		
受取利息	16	6
受取配当金	76	79
有価証券運用益	83	62
その他	18	20
営業外収益合計	195	169
営業外費用		
支払利息	83	81
その他	15	14
営業外費用合計	98	96
経常利益又は経常損失()	7	128
特別利益		
貸倒引当金戻入額	12	-
特別利益合計	12	-
特別損失		
投資有価証券評価損	42	42
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3	-
訴訟和解金等	-	83
特別損失合計	46	126
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	40	1
法人税等	2	6
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	42	8
四半期純利益又は四半期純損失()	42	8

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	42	8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	481	26
繰延ヘッジ損益	1	0
土地再評価差額金	-	1
その他の包括利益合計	479	25
四半期包括利益	522	16
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	522	16
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産物卸売業	冷蔵倉庫業	不動産賃貸業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	65,375	366	226	65,968	-	65,968
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	33	0	33	(33)	-
計	65,375	399	227	66,001	(33)	65,968
セグメント利益又は損失()	243	17	122	104	-	104

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産物卸売業	冷蔵倉庫業	不動産賃貸業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	64,795	351	230	65,377	-	65,377
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	18	0	18	(18)	-
計	64,795	370	230	65,396	(18)	65,377
セグメント利益又は損失()	91	14	131	54	-	54

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。